

## Judge's Comment 審査員総評

# Excellence Award 優秀賞 11 | 認定こども園 らみどり 13 | 坂上医院改修 15 | シミズヤマハウス 17 | CYCL 19 | KHR

# Special Award 特別賞

# KMEW Award ケイミュー賞 23 Grid 24 谷9店舗 25 晴れの国クリニック(えんさこ医院)

未来へ残る 建築を 発掘する。

建築としての素晴らしさはもちろん、

素材や周辺環境の特性を巧みに活かした、



# JUDGE'S COMMENT

国内外で活躍する 3名の建築家による厳正な審査。

国内外で活躍される建築家 3名を審査員として迎え 各賞全11点を選出しました。



藤本壮介 / Sou Fujimoto

建築素材の特性を活かすことで、 内と外が溶け合う空間が生まれる。



1971年北海道生まれ。東京大学工学部建築学科卒業後、2000年藤本壮介建築設計 事務所を設立。2014年フランス・モンベリエ国際設計競技最優秀賞(ラルブル・ブ ラン)に続き、2015、2017、2018年にもヨーロッパ各国の国際設計競技にて最優秀賞 を受賞 国内では、2005年日本国際博覧会の会場デザインプロデューサーに対任



外壁素材の使い方が広がり、 新たな魅力に出会えた。



1975年東京生まれ。1998年昭和女子大学生活美学科卒業。1998年青木淳建築計画事務所勤務。2002年永山祐子建築設計設立。主な仕事に「LOUIS VUITTON 京都大丸店」「豊島横尾館」「ドバイ国際博覧会日本館」「JINS PARK前橋」「膜屋根のいえ」「東急歌舞伎町タワー」など。JIA新人賞 (2014)、World Architecture Festival 2022 Highly Commended (2022)、iF Design Award 2023 Winner (2023)など。現在、2025年大阪・関西万博にて、パナソニックグループパビリオン「ノモの国」と「ウーマンズパビリオン in collaboration with Cartier」(2025)、東京駅前常盤橋プロジェクト「TOKYO TORCH」などの計画が進行中。



成瀬 友梨 / Naruse Yuri

シンプルな素材を使いながら、 いかに豊かな表情を生み出せるか。





1979年愛知県生まれ。2007年東京大学大学院工学系研究科建築学専攻 博士課程単位取得退学。2007年猪熊純氏とともに成瀬・猪熊建築設計事務所設立。主な作品に「お宿Onn 中津川」「LT城西」「Dance of light」。主な受賞に、2015年日本建築学会作品選集新人賞、第15回ヴェネチア・ビエンナーレ国際建築展 出展 特別表彰、大韓民国公共デザイン大賞 国務総理賞、AACA賞2023 優秀賞。主な著書に、『シェア空間の設計手法』、『子育てしながら建築を仕事にする』 http://www.narukuma.com

# WORK VILLA MITOSHIRO

「東京都 千代田区

#### 株式会社 安井建築設計事務所



吉岡 駿介 氏 / Shunsuke Yoshioka 杉木 勇太 氏 / Yuta Sugiki 松原 輝氏 / Hikaru Matsubara 小林 寧々 氏 / Nene Kobayashi

#### PRODUCT:

外壁材 / SOLIDO typeF facade ※外壁材として使用の場合は 一般地域専用となります。 内装材 / SOLIDO typeF facade SOLIDO typeM\_FLAT(鉄黒)

## 歴史を受け継ぎ、まちにひらく、 次世代の「働く場」 ヘリノベーション。

築60年の事務所ビルを次世代のワークプレイスとして改修する計画。 WORK VILLA をコンセプトに、働く人が様々な場で柔軟に働ける建築と した。本建築がある神田というまちは、昔ながらの文化や気質があり、歴史 ある建物が残るエリア。改修によって建物の歴史を受け継ぐとともに、さ まざまな分野の人たちや地域の方とつながりながら神田の文化と深く関 わっていく場を目指した。

#### JUDGE'S COMMENT

by 藤本社介 大規模なビルの1階をオープンにして新しい公共性を作り出した、企画そのものが素晴らしいです。ケイミューの素材を、セットバックで作られた軒下空間に使用し、外壁でありながら内部空間を作る素材としても機能させている点が、この場所をより魅力的にしていると感じました。

by 永山裕子 実際にオフィスにお伺いした際、街との距離がとても近かったことが印象的で、床を大きく開けて作られた吹き抜けなど、室内の設計も驚きに満ちていました。新築のように軽やかな外観を叶えた〈SOLIDO〉をはじめ、建物全体において素材を適材適所で使われている点も素晴らしいです。

by 成瀬友梨 建物の1階部分を外に開き、働き方や会社のあり方までもオープンにした、大胆で力のある作品です。外装を重厚な雰囲気の石張りから〈SOLIDO〉に変えたことで明るく軽やかな印象がもたらされ、コンセプトである「まちにひらく」と良く合い、とても素敵な場所が作られていると思いました。



# BEST AWARD SPECIAL INTERVIEW

#### **光** 安井建築設計事務所

2024年ADA最優秀作品を手掛けられた、株式会社安井建築設計事務所の吉岡 駿介氏、杉木 勇太氏、小林 寧々氏の3名に、 当社常務執行役員の藤田がインタビュー。改修の経緯や、新事務所への思いをお聞きしました。(以下、敬称略)



(左から)杉木 勇太 氏、小林 寧々 氏、吉岡 駿介 氏

## これからの「働く場」の在り方を設計する。

#### ── 社内コンペで目指した、 全社員が共感できる新事務所。

**藤田** この度は受賞おめでとうございます。 今回改修を手掛けられたビルは、安井建築設 計事務所の移転先なのですよね。まずは改修 の経緯から教えていただけますか?

吉岡 事務所の移転が決まったのが2020年でした。移転前のビルを買い取ってくださった方から、改修予定のビルをご紹介いただきまして。入居していただけるのであれば、A工事としての改修設計もお願いしたいというお

話でした。

藤田 なるほど。社内でA工事とC工事のチームに分かれて同時進行するケースは珍しいので、面白いプロジェクトですね。

吉岡 そうですね。私はビル全体の改修の総括と、事務所移転の委員会リーダーをしていたのですが、C工事については社内コンペを行うことにしました。一部の社員だけで進めるのではなく、みんなが納得する設計チームにお願いしようと考えたんです。コンペには、東京事務所だけでなく全社から20チーム、人数で言うと60名近くが参加しました。外部審査

員の方も含めた公開ヒアリングと審査を経て、最優秀チームがC工事の設計を担当することになりました。そのメンバーが杉木、小林、松原(対談時は欠席)です。

#### ----「働き方」を提案した 設計チーム。

**藤田** 新しい事務所名『美土代クリエイティブ特区』も、このチームが考えられたそうですね。コンベの際は、名前と設計を提案されたのですか?



社内コンペで提案したパース。1階がまちとつながり、社内外のさまざまな人が自由に活動する様子を描いている。

**杉木** 実は、設計内容は詳しく提案していませんでした。それよりも、自分たちがどんな働き方をしたいか、どんなふうに過ごしたいか、という思いの部分を主に提案しました。審査員の方からは、新事務所に対する思いが一番伝わったと言っていただけましたね。

**藤田** 今回の改修設計における根幹となった 「まちにひらく」というコンセプトは、この段 階で決まっていたのですか?

杉木 はい。せっかくビルの1階にも働く場をつくるのであれば、まちとつながって、業務以外のことにも取り組めるスペースをつくりたいねという話をしていました。なのでコンペでの提案は1階部分に絞って、そこでどんなことをしたいかをプレゼンしました。

小林 今までは会社をベースに業務に集中するような働き方でしたが、これからは社会に向けて積極的にアプローチし、参加することが大事だと考えています。1階は、自分たちがやりたいことに挑戦して実現させるカルチャーを育む場所にしたいと思い、『美土代クリエイティブ特区』と命名しました。

## 一 境界が曖昧な、内と外。

藤田 最終審査時には、外にひらかれているのがいいよね、と藤本さんがお話されていました。プライベートとかパブリックとか、そういうものがいい意味で曖昧になっているともおっしゃっていましたね。永山さんは、ここで打ち合わせをされたことがあったそうで、まちとの距離の近さは実感としてお持ちだったようです。でも、全てがオープンにひらかれているのではなくて、ほどよくひらかれている曖昧さが、今の建築に問われているものではないかとおっしゃっていました。みなさんの意図としてはどうですか?

**杉木** 私たちも意図していたところですね。 そのように評価いただけたのは、永山さんの 実体験のおかげかもしれません (笑)

吉岡 ビル全体としては「WORK VILLA MI TOSHIRO」をコンセプトにしていて、暮らすように働ける空間であることと、まちや人とつながることができる働く場であることが大きな



テーマでした。安井建築設計事務所のエリア も同様に、まちとのつながり方を考えて設計 していたので、両方のコンセプトが良い形で マッチしたと思いますね。

藤田 その思いが建築にはっきりと表れていますよね。そんな内と外をつなぐ、一番大事な部分にケイミューの〈SOLIDO〉を選んでいただいたのですが、その理由や経緯を教えていただけますか?

小林 改修前のビルは、元々石張りの外壁で した。

**藤田** すごく厳かというか、重厚な感じでしたよね。

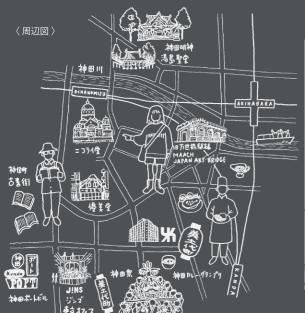
**小林** はい。なので雰囲気は変えたかったのですが、躯体が古く外壁の撤去は難しい状態



模型を使って活動のアイディアを出し合う。



まちとの距離を近づける軒下空間。





地域の方々が行き交い、自然と交流が生まれる。

でした。どうしたものかと検討していた時に、 内装材に〈SOLIDO〉が使われているオフィ スに出会い、温かみのある素材感の仕上材 を外壁として使えるなら、内と外の境界が曖 昧な雰囲気となって、すごく良いのではない かと思い、調べたのが始まりです。

杉木 既存躯体に仕上げをしないといけないので、重いものはつけられないし、厚みもあまり出せない。〈SOLIDO〉は軽量であることと、再生材料も使われていることに加えて、インターフェイスになる素材としてはすごく手触りが良いと感じました。工業製品でありながら人肌を感じるようなところがあったので、改修にも最適だと判断しました。

藤田 ありがとうございます。こんなに素敵に使っていただいて、嬉しい限りです。審査員の方々は、〈SOLIDO〉 自体の特性もあるけれど、その使い方が非常に面白いとコメントされていました。普通は内装材・外装材で分かれているものを、内なのか外なのかわからない曖昧さで上手く使っていると。今後こういう建築が広がっていくといいなとおっしゃっていました。

#### 一 曖昧な空間でつながる、 まちと人、人と人。

**杉木** 元々、外装は柱の外側についていたのですが、柱の内側にサッシを立てて、中間領域をあえてつくっています。軒下で何かができるスペース、いわゆる「曖昧な空間」をつくりたかったんです。

**藤田** やってみたいことが生まれる、何にでも使っていい空間というのがいいですよね。 しかも自由に使うことを会社が奨励しているのが本当に素晴らしいなと思います。

**小林** 今日はここをインタビュー場所として選

ばせていただいたのですが、奥では普通に仕事をしているメンバーもいます(笑)。まちの中で仕事をしているような感覚ですね。

**杉木** 暖かい時期は外にテーブルを置いて仕事したり、コーヒーを飲んだりもしているんですよ。夏には流しそうめんもやりました(笑) 小林 あれはすごく盛り上がりましたよね。イ

ベントの様子が外からも見えるので、周辺を 歩いている方も、何をやっているんだろう?と 見てくれたりして。

**杉木** 少しずつまちの方とのつながりが深まっていますよね。この前は地域のお祭りでご 挨拶をさせていただきました。今度はこのフロアを使って、町会の防災イベントが開かれる 予定です。

**藤田** 「まちにひらく」というコンセプトの通り、働く場がまちにひらいていくことで、だんだんと地域が働く場に入ってきているのですね。 **杉木** そうですね。色々な団体さんが使いたいと言ってくれていて。

**藤田** こんなスペースが使えたら、すごく楽しいことができるだろうなと思いました。これからもどんどん、地域や企業とのコラボレーションが広がっていくのでしょうね。

#### ─ 新しい働く場で生まれる、 新しい働き方。

小林 イベントだけでなく、仕事においてもできることが広がったなと感じています。 杉木 工房みたいに工具を置いたりもしているんですよ。こんなこともやっていいんだと思えるように、あえて雑多な状態にしています。 小林 自然光が入ってくるので、サンブルの検討などをここでやっているメンバーも増えましたね。来客の方やまちの方に設計事務所 のイメージが伝わるところもいいなと。

**藤田** 素敵ですね。今までの働く場にそういう場所はなかったのですか?

**杉木** 全くなかったですね。9階建てのペンシルビルでぎゅうぎゅう詰めになっていて…来年新入社員が入ってくるけど席が足りない、どうしようみたいな(笑)

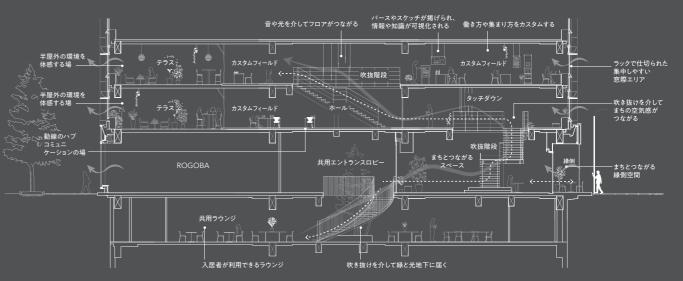
**吉岡** 席にパーテーションがあったので、お 互いの顔もあまり見えなかったですね。

**杉木** 部署ごとにフロアが細かく分かれていたので、違う部署の人とは会うことも少なかったです。その時に比べると、色々な人と顔を合わせる機会がすごく増えたなと思います。

**藤田** コンペで提案されたのは1階だけだったとおっしゃっていましたよね。同じく事務所のフロアである、2・3階はどのように設計されたのですか?

小林 2・3階も1階と同様に、「自主的に働 く」 空気感を意識して設計しました。 2・3階の メイン業務スペースは、「カスタマイズできる 働く場」をテーマにしていて、机や椅子、ホワ イトボードなど、基本的には全て可動の什器 としています。例えば、今日は一人で働きたい から机を独立させようとか、今日は誰々と相談 しながら仕事をしたいから机をくっつけようと か。自分たちの働き方を、自分たちで組み立 てられるような場所にしました。メイン業務ス ペース以外の部分は、「挑戦する」をテーマ にしています。自然通風と自然採光を活かし た『テラス』という空間や、模型作成などの作 業ができる『アトリエ』といった、やりたいこ とに挑戦できる場を設けています。各フロア の設計だけでなく、全体の構造としても1階 の空気感を2・3階に引き上げられるよう、吹 き抜けと階段を新設して1~3階をつなげる設 計にしています。

〈断面図〉



**藤田** この吹き抜けと階段は目を惹きますね。ただこれはA工事で行う部分ですよね。 ビル全体の設計においては問題なかったのですか?

**吉岡** そうですね。元々フロアをつなぐような階段を設置したいねという話はしていて、オーナーさんにも共感いただき、実現することができました。

**藤田** なるほど。このつながっているような、 つながっていないような空間は、強く印象に 残りますね。

吉岡 風と光と緑が全体的につながっていく ような空間を目指していました。ビルの共用 部となる地下と私たちの事務所の境界もガラ ス張りにすることで、物理的にはつながって いないのですが、空間的にはまるでつながっ ているような感じになっています。

#### --- 60 年の歴史を受け継ぐ リノベーション。

藤田 あとは、改修で全てを新しく綺麗にし

てしまうのではなく、ところどころで昔の記憶 を見せているところが非常に素敵だなと思い ました。

杉木 色々な議論があった部分ですね。例えば、既存躯体の型枠板の肌合いが出ているところを塗って綺麗にするか、塗らずに活かすか。梁の傷は隠すのか、とか。でも、60年ものの表情を出す方がいいと思ったので、結局はそのままにしましたね。

**吉岡** 働く場は綺麗であるべきだと考える方もいて、そういう方にとっては違和感のある部分ではあったかなと思います。でも完成からしばらく経って、今は受け入れてくれているように感じますね。

小林 2000年に大規模な改修をした際に柱 に取り付けられた、耐震補強用の鋼板もあり ましたよね。

吉岡 それも隠すのではなくて、せっかくなので見せることにしました。素材感を大事にする考え方も、A工事・C工事共通でしたね。

藤田 素材感でいうと、トイレにも〈SOLI DO〉 を使っていただいていましたよね。

吉岡 そうなんです。A工事として設計した、 共用部のトイレですね。

**藤田** 入った時に感動しました。誰にでも使いやすいようなデザインで、かつとても素敵な空間だったのが印象的で。トイレについても教えていただけませんか?

吉岡 トイレはピカピカの状態でつくられるケースが多いのですが、あえて人肌に近い温かみのある素材を探していました。先行して外装で〈SOLIDO〉を使ってみて、求めている仕上材の可能性を実感していたので、これを使おうと考えたんです。この製品があって、今のデザインに行き着きました。

藤田 ありがとうございます。〈SOLIDO〉を 開発した人間としては、本当に感慨深いで す。素材のこと以外にも、今日は貴重なお話 をたくさんお聞きできました。 ありがとうございました。







(左)1階から2階をつなぐ吹き抜け階段。(中)さまざまな企画を開催できるキッチン&ライブラリースペース。 (右)〈SOLIDO〉を使った内装が温かみを感じさせるトイレ。

優秀賞

## 認定こども園 らみどり

[福島県 須賀川市





株式会社 はりゅうウッドスタジオ 滑田 崇志 氏 / Takashi Nameda 斉藤 光 氏 / Hikaru Saito

#### PRODUCT:

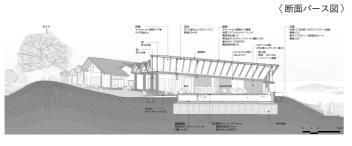
外壁材 / LAP-WALL Simple -シンプル (グラッサ・パールグレイ / グラッサ・アーバンシルバー)

### こどもたちが伸びやかに育つ、 自然と共生するこども園。

須賀川市の丘陵地に建つこども園のプロジェクト。自然を生かした森のようちえんのような保育環境をつくりたいという意向があり、隣接する翠ヶ丘公園の緑塊と連続し、かつてあった里山を再生するこども園にしたいと考えた。既存の10本の桜の巨木を残し、屋根は丘の地形に寄り添うようなS字カーブを描き、一つひとつの保育室は家をイメージした屋根形状としている。

#### JUDGE'S COMMENT by 永山裕子

各保育室の切妻屋根が連なる構造や、室内から 優しい光が漏れ出す抜け感のある構造がとても 印象的です。丘陵地の高低差を活かした設計も 素晴らしく、こどもたちが楽しく通える場所に なっていると思いました。





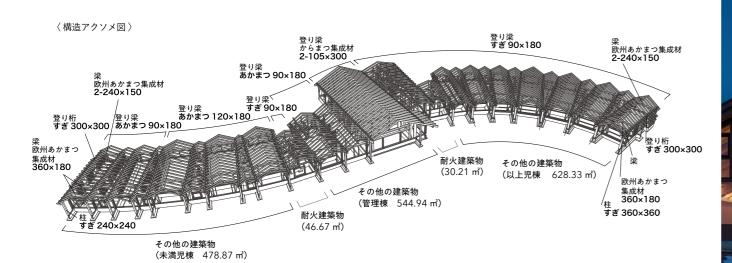






Photo by 早川記録

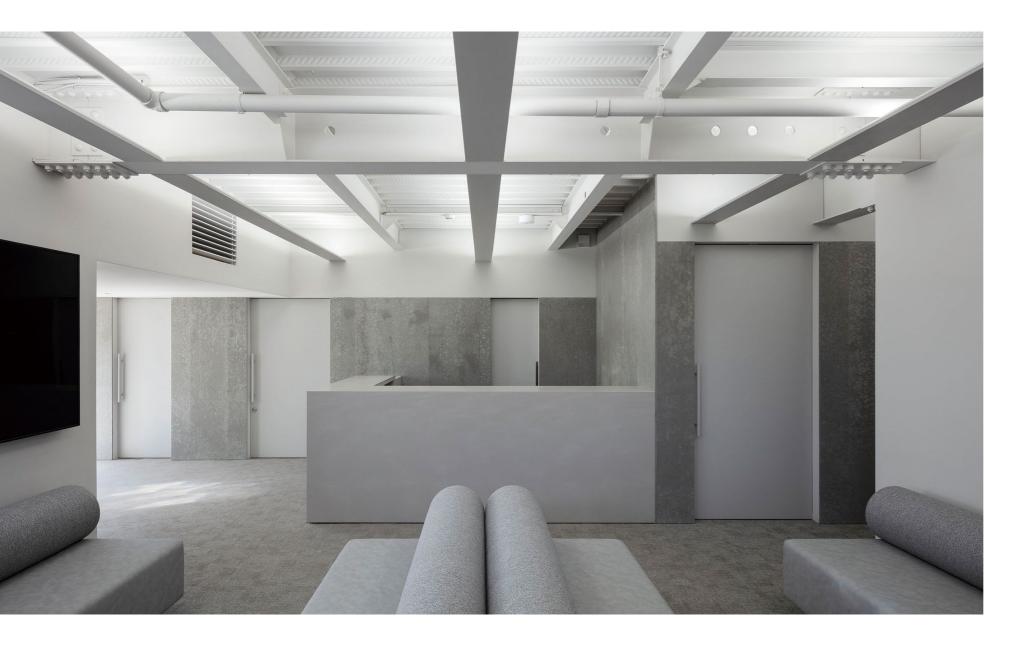




Photo by 山内紀人

# 坂上医院改修

[東京都西東京市]



株式会社 MYAT 吉里光晴氏/Mitsuharu Yoshisato

PRODUCT: 内装材 / SOLIDO typeF coffee

## 素材美と光が作り出す、心地よい空間。

診療所の内装改修。やわらかな光に包まれて落ち着くことのできる空間を目指した。梁 に擬態させた照明器具によって天井全体をぼんやりと明るく照らし、既存のガラスブ ロックから差し込む光と一緒に空間をやさしく包み込む。異なる素材感をもつグレー の材料を組み合わせることで、落ち着いた雰囲気とともに空間の奥行きを感じさせる。



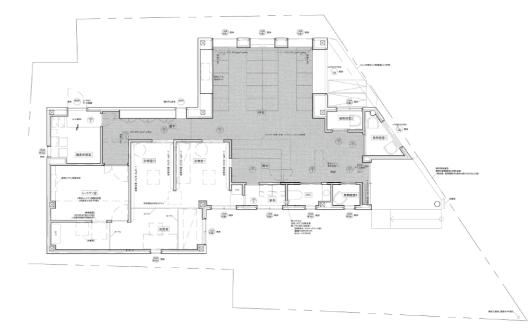
BEFORE 先代から引き継いだ、診

療所。長年にわたり地域 で愛されてきた。ガラス ブロックからの光がデ ザインの手がかりに。

#### JUDGE'S COMMENT by 成瀬友梨

歴史ある診療所のインテリアを、現代の利用に即した建 物に仕上げています。構造がむき出しの内装を、効果的 な素材の選定と使い方、間接照明の配置によって落ち着 いたトーンでまとめた点が優れていました。

〈平面図〉



優秀賞





Photo by 山内紀人

## シミズヤマハウス

[神奈川県川崎市]



古谷デザイン建築設計事務所 古谷俊一氏 / Shunichi Furuya

PRODUCT:

外壁材 / SOLIDO typeF facade ※一般地域専用品

## 洗練された佇まいが、 街の景観を形作る。

スイシャハウス・スイシャオフィスの連作として計画されたトリプレット型5戸長屋。3戸は高低差を活用し半地下を設計し、空間有効化を図った。2戸は近傍の音大生をターゲットとし防音室を計画。さらに薄い形状を生かし眺望の抜けを特徴とした。双方ともに変容するライフスタイルに追従すべく、個室の概念は最小限担保し、パブリックとプライベートの深度を上下により選択できる設計とした。

#### JUDGE'S COMMENT by 成瀬友梨

連作プロジェクトにおいて、建物の形だけでなく、素材なども統一することによって街並みを作っていることが素晴らしいです。建物は細部まで計算し尽くされており、非常に洗練されていると感じました。

#### 〈南東側立面図〉



#### 〈北西側立面図〉



#### 〈1階平面図兼配置図〉



優秀賞

## **CYCL**

[山梨県山中湖村]



株式会社百枝優建築設計事務所 百枝優氏/Yu Momoeda

#### PRODUCT:

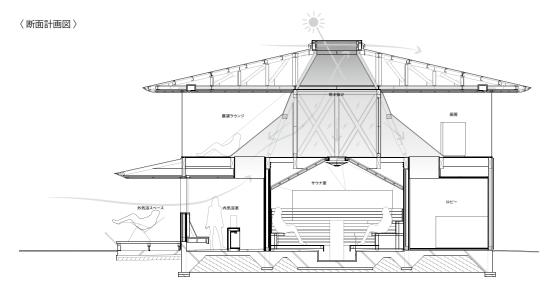
外壁材 / アートウォール仕上げ専用ベース板 (装飾塗装仕上げ:エスケー化研株式会社 ベルアート / トラバーチン)

## 風景のひとつとして主張する、 上層と下層のコントラスト。

山中湖村に建つサウナ。自然公園法に基づく外形の制約に則りながらも、建築を地域固有の歴史につながる風景の一部にしたいと考えた。そこで富士山と笠雲に注目し、山のような構造体で屋根を浮遊させ、「山」の中と外に集中と解放という異なる特徴の空間を設えた。 KMEWアートウォールで囲んだ1階は外部を視覚・聴覚的に遮断した落ち着いた環境であり、2階は無柱空間によって周囲に開けた、美しい景色とゆったりした時間が過ごせる場となった。

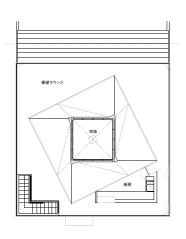
#### JUDGE'S COMMENT by 藤本壮介

1階の外壁はあえて真っ黒な素材を使い、その存在が消えていくように設計することによって、2階の山のような部分だけが浮かび上がるように作られている。そのコントラストが見事だと思いました。





〈2階平面図〉







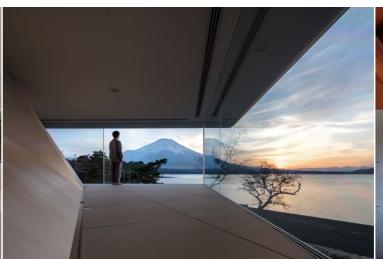




Photo by YASHIRO PHOTO OFFICE

## **KHR**

[長野県北佐久郡]



SAAD - sudo associates, architecture and design 須藤 朋之 氏 / Tomoyuki Sudo

PRODUCT:

外壁材 / FLAT DESIGN PANEL シンプルドット (QFドット チタン グレー)



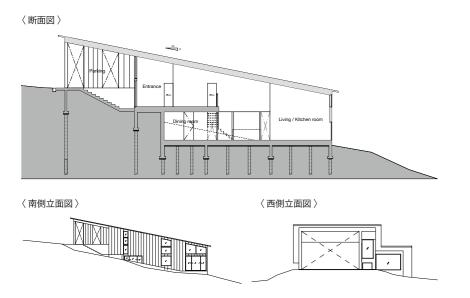
Photo by toru 写真事務所

## 自然との豊かな暮らしを提案する、 森の中に建つ住まい。

軽井沢の森林豊かな傾斜地に沿わせた環境と共生する住宅。敷地は細長い形状で最 大高低差は13mに達する。環境を生かし、大きく3段に分けたスラブを傾斜なりに 配置。アプローチからは建物が森の中に佇む様子が一望でき、住まう人が森の奥へ 進むたびに自然の息吹を感じられるように期待した。また無彩色で統一した仕上げ によって、窓から見える四季折々の鮮やかな風景を引き立てるなど、自然環境と調 和した豊かな暮らしを実現するためのアイデアを随所に織り込んだ計画となった。

#### JUDGE'S COMMENT by 永山裕子

周囲の自然がとてもうまく設計に活かされています。無彩 色の中に表情豊かな質感を持ったケイミューの外壁材が、 昼のやさしい自然光と、夜の照明で生み出される光と影に よくマッチしていると感じました。



#### 〈平面図〉





## **Special Award**

特別當





Photo by 新澤一平

## drop

[埼玉県川口市]



株式会社リオタデザイン 関本 竜太 氏 / Ryota Sekimoto

#### PRODUCT:

屋根材 / グランネクスト Simple -シンプル (グラッサ・ココナッツブラウン) 外壁材 / LAP-WALL Simple -シンプル (グラッサ・ココナッツブラウン)

### 住まいに表情をもたらす、 緻密な外観デザイン。

外観は街に向けた「顔」としてのファサードを強く意識し、端部の納まりや開口周りの設えを注意深く構成することで、スレートの寡黙な素材感との対比を最大限に生み出すよう意図した。またわずかなスペースにも造園計画を行うことで、街並みに対しても良好な環境を寄与できるよう配慮した。室内は広がりの感じられる空間とするため、吹抜けや開口位置の工夫によって奥行きをつくりだし、またラウンジ床をスキップさせることで、キッチンからの目線がラウンジでくつろぐ家族の目線に合うように設えた。

#### JUDGE'S COMMENT by 藤本壮介

ファサードの完成度が非常に高い作品だと感じました。 ケイミューの素材を用いたシンプルな外壁と、木の質感 を取り入れながら、あえてバランスを崩すアプローチを した開口部との対比が絶妙です。

## **Special Award**

特別官

## 関電不動産渋谷ビル

[東京都 渋谷区





株式会社 竹中工務店 吉田泰洋氏 / Yasuhiro Yoshida 村田裕介氏 / Yusuke Murata

PRODUCT:

内装材 / SOLIDO typeF shirasu SOLIDO typeF coffee

#### 多彩な建築アイデアが、 オフィスの価値観を転換する。

魅力的なオフィス環境と仕組みを実現し、そこから生まれる賑わいが渋谷のまちの魅力となることを目指した中規模テナントオフィスである。画一性・均一性・択一性という従来テナントオフィスの価値観を個性・多様性・選択性へと転換し、渋谷との接点となる、通りへ発信する吹抜オフィスや、通りと連続する外階段オフィス、形状の異なる舞台となるテラスオフィスを実現した。

#### JUDGE'S COMMENT by 永山裕子

一見してオフィスビルとは分からないほど、さまざまな 要素が組み合わされていることに驚きました。多様な素 材が適材適所に用いられ、これまでのオフィスとは異な る、新しい質感がうまく作り出されています。





Photo by 株式会社エスエス 島尾 望

## **KMEW Award**

ケイミュー賞



## Grid

[三重県]



株式会社CURIOUS DESIGN WORKERS 石本輝旭 氏 / Teruaki Ishimoto

PRODUCT :

外壁材 / SOLIDO typeM LAP (灰 / 鉄黒 / セメント) 内装材 / SOLIDO typeM LAP (灰)

### 戸外の空気が流れ込む、 内外がボーダレスに繋がる邸宅。

南側に大開口を設けながら、各方位から拡散光を取り入れ、自然光による明るさを確保しつつ、屋外を室内に取り込むことで平面的な面積以上の広がりを演出した平屋住宅。宮殿の柱や人工林のように、等間隔に並んだ線で構成されるグリッド上に、柱のような一坪の部屋(柱部屋)を規則正しく配置。仕上げにSOLIDOを採用することで、内外を繋ぐボーダーレスな空間を実現させるアイコンとして印象付けた。

#### JUDGE'S COMMENT by 成瀬友梨

素材選定と空間設計が見事に調和し、 シンプルに品よくまとめられていま す。建物の内部と外部を同じ素材で連 続させることで、屋内でも屋外にいる ような心地よさを感じられる、魅力的 な住宅だと思いました。



## **KMEW Award**

ケイミュー賞

## 谷9店舗

[大阪府大阪市]



桑原年弘建築設計事務所 桑原年弘 氏 / Toshihiro Kuwahara

PRODUCT:

外壁材 / FLAT DESIGN PANEL フィエルテ (QFフィエルテ チタン アイロン)

#### さまざまな制約を最大限に活かし、 建築に個性が生まれる。

約7坪の狭小地に建つテナント賃借用の準耐火木造2階建の店舗は、厳しい施工条件が必要とされた。 KMEW サイディングを内張施工とし、隣地境界側は最小離隔6cm で施工。片流れ屋根の水下側には、メンテナンスに関わるすべての設備(雨水・ダクト排気・上下水・ガス・電気・換気)を集約。道路側は「光の透ける壁」として、昼は外光を内部に取り入れ、夜は内部の光で「行燈」のごとく街を照らすことをめざした。 JUDGE'S COMMENT by 永山祐子

狭小地に建つチャーミングな外観と、 上品な内装のコントラストが素晴ら しいです。難しい条件下において工夫 を凝らした設計で、特に両側を高い建 物に挟まれていることを活かした光 の取り入れ方が巧みでした。

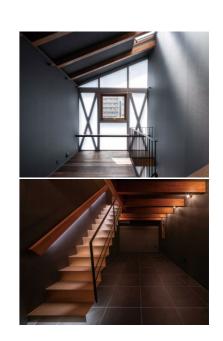




Photo by 母倉知樹

## **KMEW Award**

ケイミュー賞

## 晴れの国クリニック(えんさこ医院)

[岡山県倉敷市]



株式会社ケンチックス 織田博充氏/Hiromitsu Oda

外壁材 / LAP-WALL Flat- フラット ( グラッサ・ミルキーホワイト )

#### 訪れる人の心を和らげる、 細やかな気遣いが際立つ設計。

岡山県倉敷市にある、内科と整形外科を併設したクリニック。バリアフ リーの平屋を要望されたが、過去に浸水被害に遭った地域のため、フロ アレベルを上げ、駐車場から院内に入るまで四季折々の木々や植物を 眺め、季節を感じながらアプローチできるスロープを設置した。また、 医療に対する恐怖心が和らぐように、南面のファサードには深い庇を 設け、建物が低く見えるよう計画した。

#### JUDGE'S COMMENT by 藤本壮介 -

ケイミューの素材を用い、エントランス部分に中間領域を作る ことで、駐車場からクリニックへのさりげないアプローチに成 功しています。これは建築的な提案として非常に魅力的ではな いかと思い、選びました。





Photo by アマキカメラ 畑勝明





ケイミュー株式会社 〒540-6013 大阪府大阪市中央区域見1-2-27 クリスタルタワー 13F

